

2021 年 1 月 4 日

肥後銀行 2021 年 頭取年頭あいさつ

当行頭取（笠原 慶久）が、2021 年の年頭にあたり、下記のとおり全行員に向けメッセージを送りましたので、お知らせいたします。

なお、本メッセージは動画配信をしており、下記リンクよりご覧いただけます。

記

〔内容〕

はじめに

1. 地銀が生まれ変わる年
2. 自らが輝く年
3. プロセス改革の年

結びに

〔動画〕

メッセージ動画はこちらからご覧いただけます。



（外部サイトへリンクします。）

《本件に関するお問い合わせ》
九州フィナンシャルグループ 広報・IR部
担当：小西
電話 096-326-5607

株式会社肥後銀行

2021 年 頭取年頭あいさつ

はじめに

笠原です。皆さん、新年あけましておめでとうございます。

昨年は感染症と豪雨災害という自然の驚異に大きな影響を受けた一年でしたが、2021年の新年初日を迎えるにあたり、どういう年にしたいか、3つに纏めてお話しします。

1. 地銀が生まれ変わる年

まず1つ目、今年を「地銀が生まれ変わる年」にしたいと考えます。日本に一般的にある地方銀行という存在から、高い価値を提供することを通じ、お客さまや地域、行員、そしてその家族から、高く誇れる新しい企業グループに生まれ変わっていかうということです。

生まれ変わる方向は、縦と横の二方向です。縦の方向は、品質の一層の追求です。お客さまや地域に徹底的に役に立ち、その恩恵が私達にも戻ってくる、品質の高いエコ・システム、エコ・サイクルを回したいと思います。横の方向は、金融だけでなく、デジタル化のお手伝いや、人材の紹介、経営コンサル、クラウドファンディングなど、お客さまや地域の価値が高まることを、新しいビジネスとして本気で取り組む年にしたいということです。

私達は、お客さまや地域の皆さまとともに、お客さまの資産や事業、地域の産業や自然、そして文化を育て、守り、引き継ぐとともに、地域の価値を高め、未来をともに創造していくために存在しています。新型コロナにより、日本中の人々や地域が苦しむ中、地方銀行に期待される役割は、もはや金融だけではありません。地域を元気にすることが求められています。このことは即ち、我々が仕事を通じて活躍できるフィールドが広がっていくということです。私はこう思うのです。どんな地銀があるかによって、その地域の未来が変わってくる。そして、今ほど地銀の仕事が面白い時はない、と。

皆さんには、肥後銀行がこの地にあることが、地域の人々にプラスとなるよう、自主・自律・自発で考え、行動し、それぞれの持ち場で頑張ってもらいたい。お客さまの資産価値や事業価値、地域の魅力が高まるような活動をして、地域やお客さまとともに「うるおいある未来」を創っていったい欲しいのです。今年2021年は、厳しい環境にある地銀界をリードしていくという気概も含めて、「地銀が生まれ変わる年」とし、品質を一層高めるとともに、金融以外の様々な業務にも挑戦していきましょう。

2. 自らが輝く年

次に2つ目ですが、今年を「自らが輝く年」にしてほしいと思います。皆さんは今、キラキラと輝いていますか。仕事を通じ人の役に立つことができれば、感謝され、褒められ、嬉しくなり、「やりがい」や「充実感」が感じられる。そして仕事が楽しくなり、自然と輝くことができます。皆さんには、ぜひ人から感謝されるよう、能力アップに努め、お客さまの課題解決に向け、自ら考え、行動してほしいのです。それぞれが今年何を勉強し、いつまでに能力を上げていくのか、具体的な計画を立て、「ひざん学びネット」なども活用しこれを1年間で完遂して欲しい。同時に、お客さまのため、地域のため、同僚のために力を尽くし、多くの人から感謝されることで、「自らが輝く年」になって欲しいと思います。

3. プロセス改革の年

最後の3つ目は、「プロセス改革の年」です。もっと簡単に言うと、「ペーパーを無くす年への挑戦」ということです。新型コロナはSociety5.0の入り口にあった世界で、テレワークやWEB会議など、デジタル化を加速させました。この「ニューノーマル」は、たとえ新型コロナ問題が収束したとしても元に戻ることはありません。世の中がデジタル化する中、我々自身も、仕事のやり方を変えなければ、時代に取り残されてしまいます。私としても、皆さんの意見を聞きながら、必要な環境や設備を整えたり、使い勝手を良くしたりしていきますので、皆さんは、お客さまとのやり取りも、内部の事務や報告、決裁書面なども、原則として全て紙を無くし、WEBやイントラのみで仕事ができないか挑戦してください。仕事のやり方を徹底的に変え、紙を無くすことを一つの象徴としつつ、「プロセス改革の年」にしましょう。

結びに

結びに、現中計「新創業2020」も残り3ヶ月。当初計画を立てた時から環境は激変しましたが、有終の美を飾れるよう、各自の持ち場で計画を結実させ、4月から新たに始まる次期中計のスタートダッシュに繋げてほしいと思います。

以上ですが、繰り返しますと、今年は「地銀が生まれ変わる年」、「自らが輝く年」、そして、「プロセス改革の年」の3つです。今年も、皆で力を合わせ、元気に頑張っていきましょう。

以 上